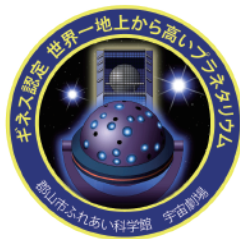


2019年

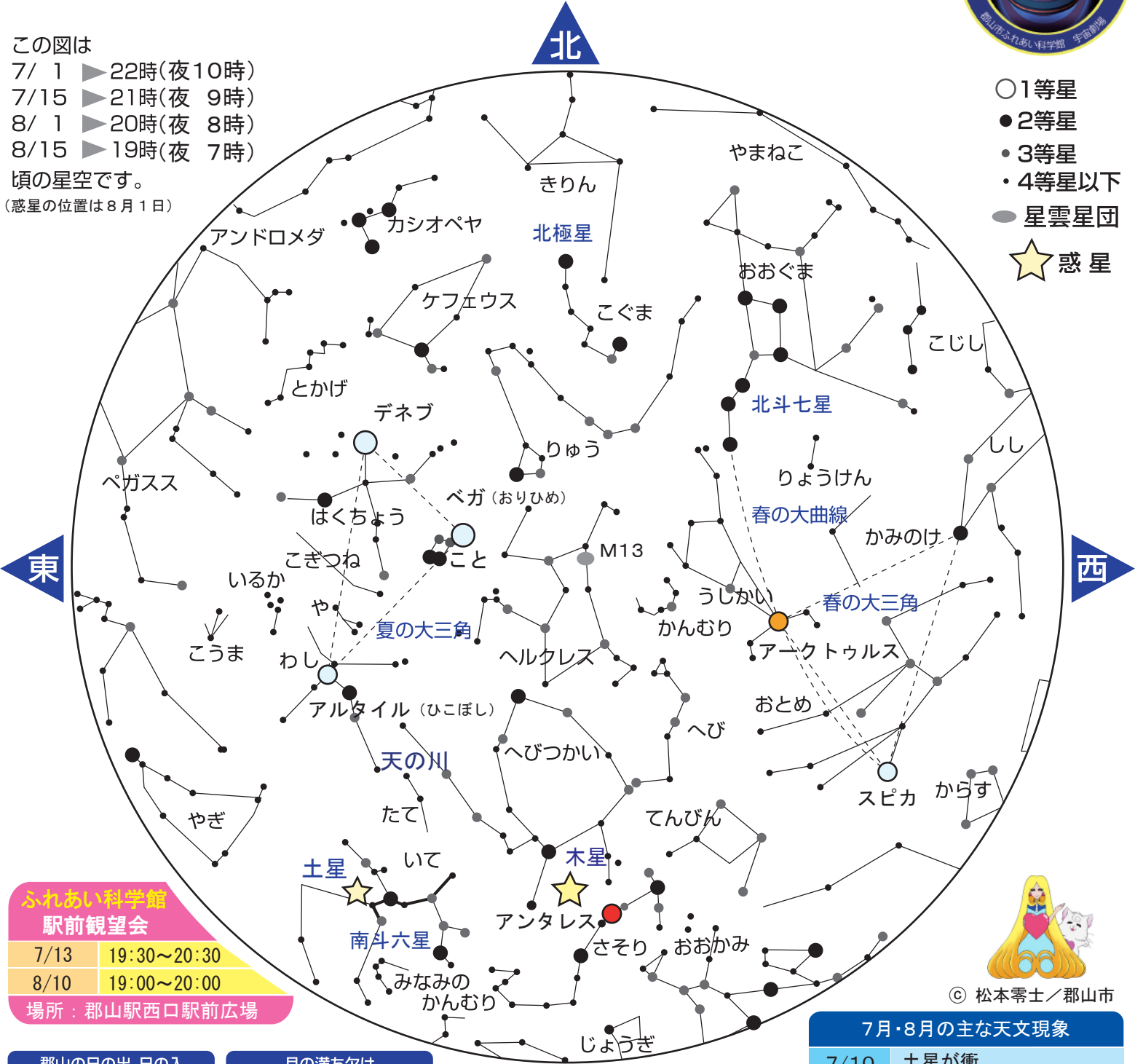
7月▶8月の星空



この図は
 7/ 1 ▶ 22時(夜10時)
 7/15 ▶ 21時(夜 9時)
 8/ 1 ▶ 20時(夜 8時)
 8/15 ▶ 19時(夜 7時)

頃の星空です。
 (惑星の位置は8月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ★惑星



ふれあい科学館 駅前観望会

7/13	19:30~20:30
8/10	19:00~20:00

場所：郡山駅西口駅前広場



© 松本零士・郡山市

7月・8月の主な天文現象	
7/10	土星が衝
7/31	みずがめ座δ南・北流星群極大
8/10	水星西方最大離角
8/13	ペルセウス座流星群極大

郡山の日の出、日の入			月の満ち欠け	
7/ 1	4:21	19:04	新月	7/13, 8/11
7/15	4:29	19:00	上弦	7/20, 8/18
8/ 1	4:42	18:47	満月	7/28, 8/26
8/15	4:54	18:32	下弦	7/ 6, 8/ 5

※上弦、下弦は半月です。

この夏注目の天体は何と言っても木星と土星です。木星は宵の南の空にさそり座のアンタレスと並んで輝いています。この頃の木星の明るさはマイナス2.4等と、この時期の星空で最も明るく輝いています。一番明るい星はどれか探してみてください。土星はその木星から東に目を向けていくと、いて座の柄杓「南斗六星」のそばに見つかります。7月10日に衝(土星-地球-太陽が一直線に並ぶ)となり、一晩中観察することができます。惑星は星座を作る恒星とは異なり、瞬きがないのが特徴です。輝き方の違いに注目して探してみてください。望遠鏡で見ると、木星は縞模様が見えてきます。木星の周りをまわる4つの衛星(ガリレオ衛星)の並びにも注目してみましょう。土星は最大の特徴である環に注目です。環の傾きは年々変わっていきませんが、今年も環の形をはっきりと観ることができます。

また、この時季は流星群にも注目です。7月末にはみずがめ座δ南・北流星群に加え、やぎ座流星群も極大となります。新月前で月明かりの心配もなく楽しめます。特にやぎ座流星群は明るい火球が出やすいので、大きな流れ星に願いをかけてみてください。夏を代表するペルセウス座流星群は、今年は満月近くの月があるため、条件は厳しめです。月が沈む明け方に狙いを定めてみましょう。

